

PC圧着関節工法委員会は、耐久・耐震技術向上のため多くの学識経験者によるPC圧着関節工法、鉛直地盤アンカー等のプレストレスト・コンクリート全般の構造技術の研究と普及に努めています。

PC圧着関節工法委員会 委員一覧

委員長 松崎 育弘
(東京理科大学名誉教授)

委員 池田 尚治
(横浜国立大学名誉教授)

委員 北村 春幸
(東京理科大学副学長)

委員 坂田 弘安
(東京工業大学教授)

委員 田邊 恵三
(PC圧着関節工法委員会技師長)

委員 町田 重美
(㈱東京建築研究所名誉顧問)

委員 和田 章
(東京工業大学名誉教授、元・日本建築学会会長)

五十音順 2019年9月現在)

推奨技術認定書

都市の建物は、限られた敷地を有効に活用するためにも、塔状比の高い建物の需要が大きくなっています。このような都市部の中高層建築、或いは現在、盛んに行われている耐震補強には、大地震時に引抜き抵抗により建物の転倒を防止し、構造躯体と地盤との一体化をはかったグラウンドアンカーが欠かせません。

また、最近では、数十年～数百年に極めて稀に起きる震度7級の大地震に対しても安全性を確保する耐震性能と共に耐振性能が求められており、これに対してもグラウンドアンカーは有効です。

一方、都心では、地下水の汲み上げ規制等により地下構造物に重大な影響を及ぼす程の地下水位の上昇が起きています。これらの地下構造物の浮上り防止対策として、また、安全の確保を確実にした浮上り防止グラウンドアンカーの重要性も高まっています。

PC圧着関節工法委員会は、 tendon に全素線完全防錆型ストランドを使用して、確実な防錆機能を備え、耐震補強、転倒防止、浮上り防止に極めて有効に機能する工法として、「KTB鉛直地盤アンカー工法」を推奨しています。

さらに、PC圧着関節工法委員会では、震度7級にも耐える耐震建築技術として開発された「PC圧着関節工法」と、この「KTB鉛直地盤アンカー工法」との併用も推奨しています。

PC圧着関節工法委員会・委員長
松崎 育弘

Ducst®に限る。

世界初 五重防錆

Ducstアンボンド(Duc-U1)

本設 KTB鉛直地盤アンカー

開発者：黒沢建設株式会社

〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17階
TEL(03)6302-0221(代) FAX(03)6344-2113

販売元：株式会社ケーティービー

〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17階
TEL(03)6302-0243(代) FAX(03)6344-2126

事務局：K T B 協会

〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17階
TEL(03)6302-0258(代) FAX(03)6344-2119

